

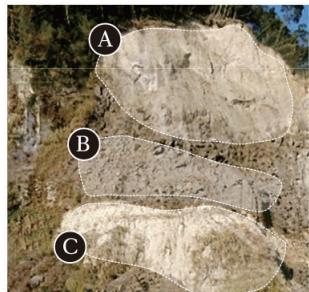
桜島・錦江湾ジオパーク (Geopark)とシラス台地について

ジオパークとは、大地と自然と人の「つながり」を感じ、楽しみながら学べる地域のことです。桜島・錦江湾ジオパークのエリアには、広大なシラス台地が広がっています。これは約3万年前に鹿児島湾の北部で超巨大噴火が起り、たった1週間で南九州一帯を火碎流が埋め立てできた地形です。火山灰でできた台地は水はけが良すぎるため農作物に不向きでしたが、人々の知恵と工夫でサツマイモができるようになり、それを使った焼酎の文化も生まれました。

火山と人と
自然のつながり▶
【 YouTube 】



NPO法人
桜島ミュージアム理事長
博士(理学)火山地質学
福島大輔 氏



A…普通シラス層 B…火碎流層
C…吉田シラス層

普通のシラスとは違う 『吉田シラス』の凄さ

このような超巨大噴火は鹿児島で何度も繰り返されています。その中で約40万年前の噴火で発生した火碎流が、海の中で堆積したため非常に細かい火山灰だけが淘汰されてきたと考えられているのが『吉田シラス』です。海の中という特殊な環境で堆積したシラスは珍しく、鹿児島県のシラス台地の中でもたった1%程度しかありません。



国際化粧品原料辞典にも 登録された『吉田シラス』

この『吉田シラス』の火山灰の非常に細かいという特徴を活かし、知恵と工夫で石鹼などが開発されました。現在は国際化粧品原料辞典(ICID)にも登録されている希少価値の高いシラスです。

シラスソープ(洗顔石鹼)のお問い合わせ・ご注文はコチラ

無料電話

0120-20-2208 (月~金 9:00~17:30／日祭日・年末年始・夏季休暇など除く)

株式会社 日本衛生センター／シラス(地質)事業開発部 担当:山本 真理子
〒892-0852 鹿児島県鹿児島市下竜尾町25-22 第5日衛ビル
sirasukireisoap.com